

旅客・貨物複合輸送実験の成果概要

島根県中山間地域研究センター 研究統括監
島根県立大学連携大学院 教授 藤山 浩

- ①実験期間 2005年12月1日～2006年2月28日
- ②運行日数
(月～金運行) 57日(うち全便利用無し6日)
*豪雪による運休5日
- ③旅客利用総数 263人(うち日貫地区内移動79人)
- ④1日平均旅客数4.6人
- ⑤貨物利用総数 17個(うち日貫地区内商店14個)
- ⑥1日平均配達数0.3個
- ⑦使用車両 10人乗りジャンボタクシー
後部座席の背部が貨物スペース
- ⑧運行経費(日額) 18,000円

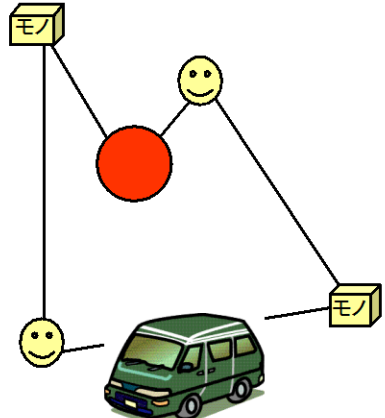
全国初のデマンド型バスによる旅客・貨物複合輸送

中国運輸局
との共同実験事業

日貫一矢上・中野地区
300円
(100円)

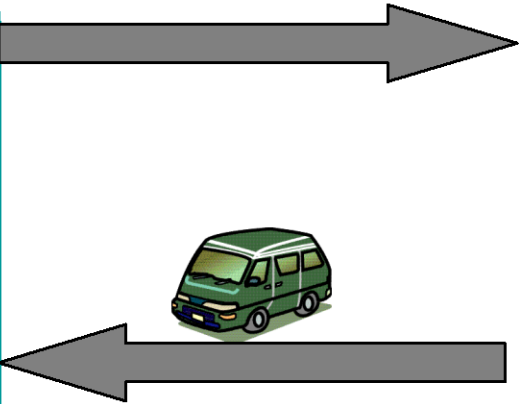
旅客の料金
(貨物の料金)

日貫地区



時間帯を決めて予約
のあった家を回ります

日貫地区内
100円
(50円)



日貫
やまびこ
タクシー

矢上・中野地区



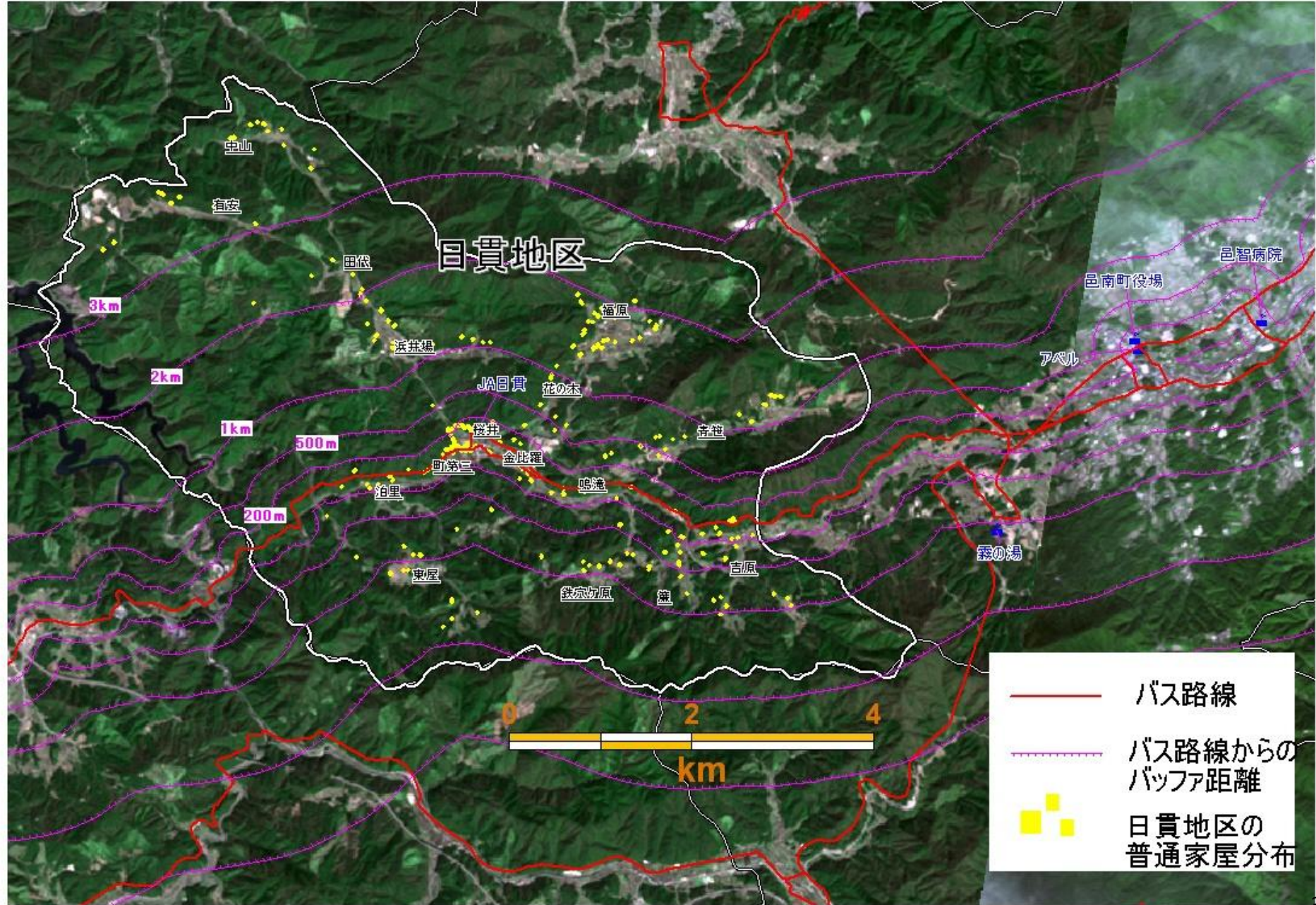
邑智病院
学校
商業施設
商店街
物流拠点
役場

邑智病院から役場間
は停留所と停車時間
を決めて運行します

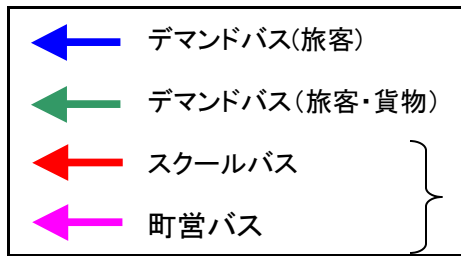
矢上・中野地区内
100円

※日貫からの利用者
のみ利用可能

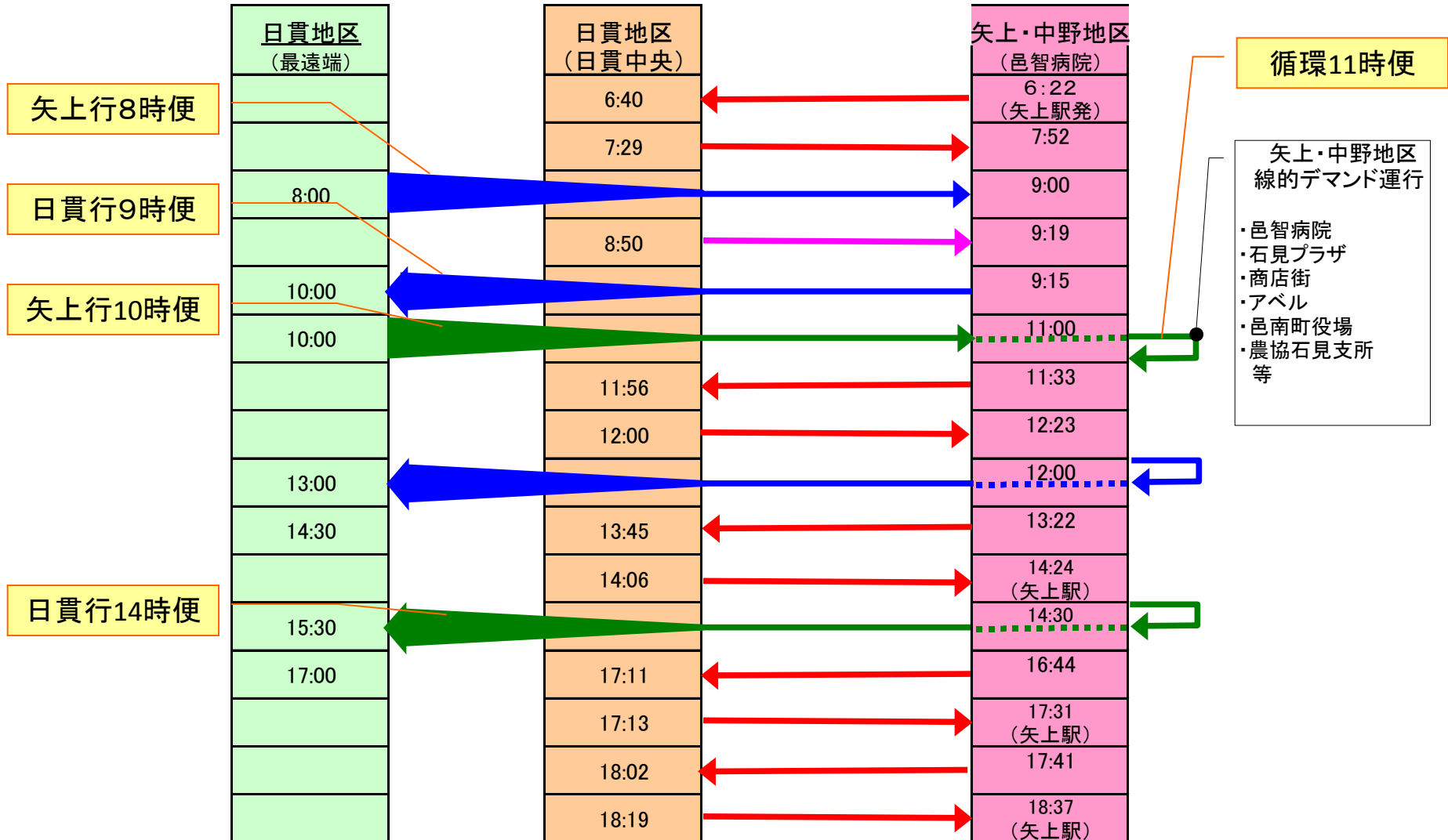
従来の路線型では対応できない分散型の居住形態



＜運行ダイヤ＞



実験期間中も運行を継続



②日平均利用者数（週別）

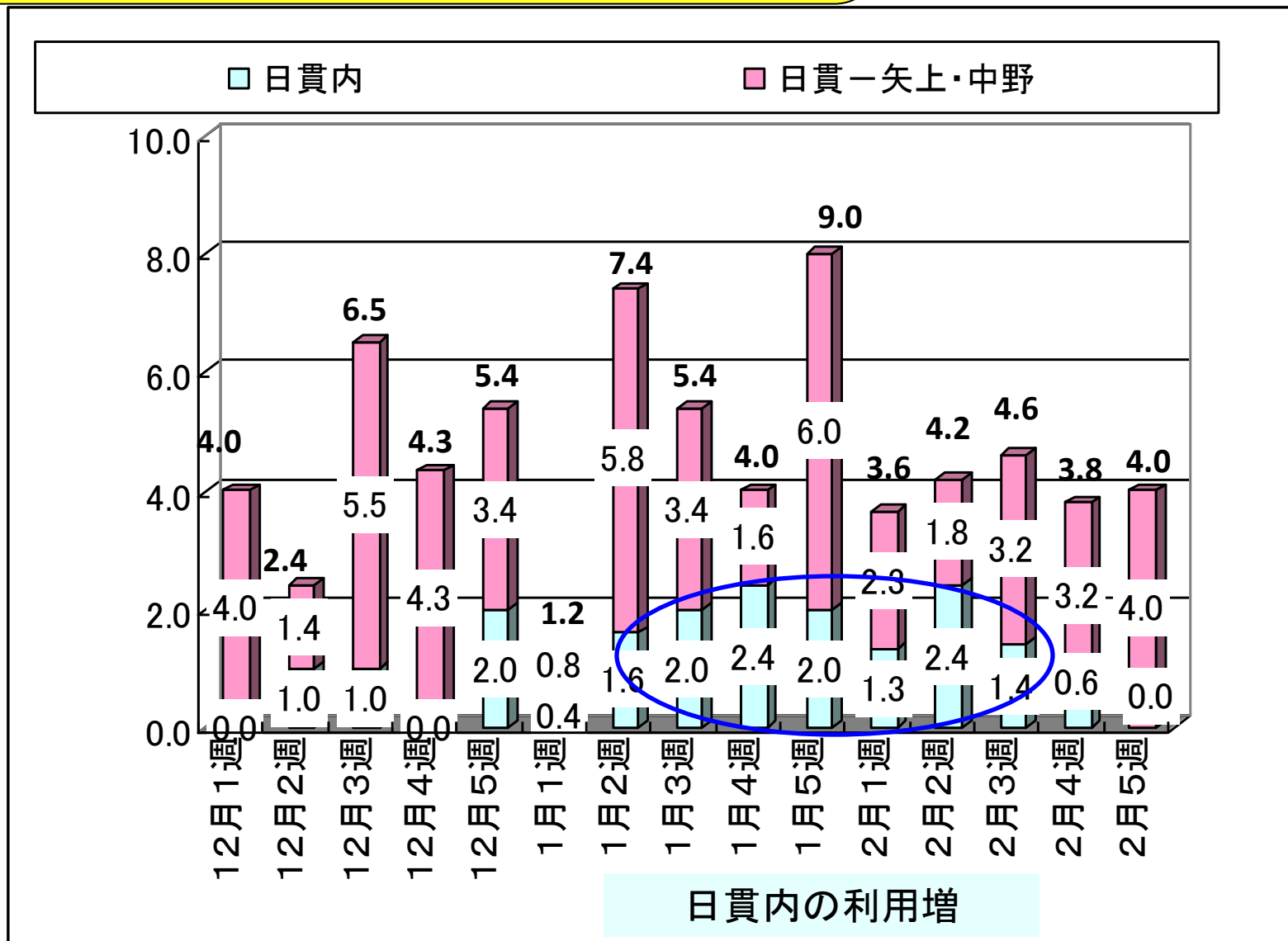


図 日平均利用者数の推移(旅客)

※土日、祝日、1月2, 3日、積雪による運行不可の日を除く

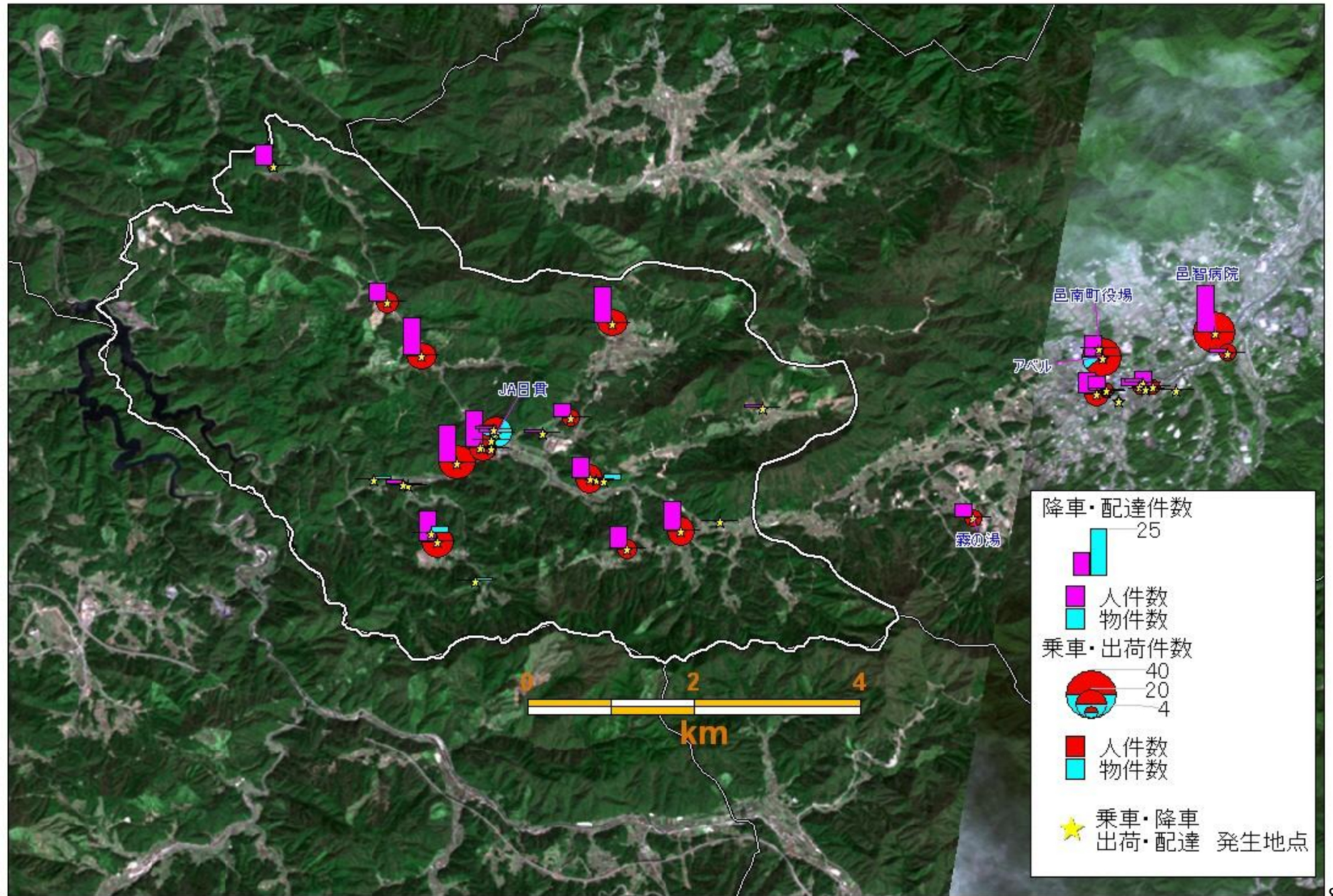
重い手荷物といっしょに玄関先まで



貨物だけの単独配達も行う

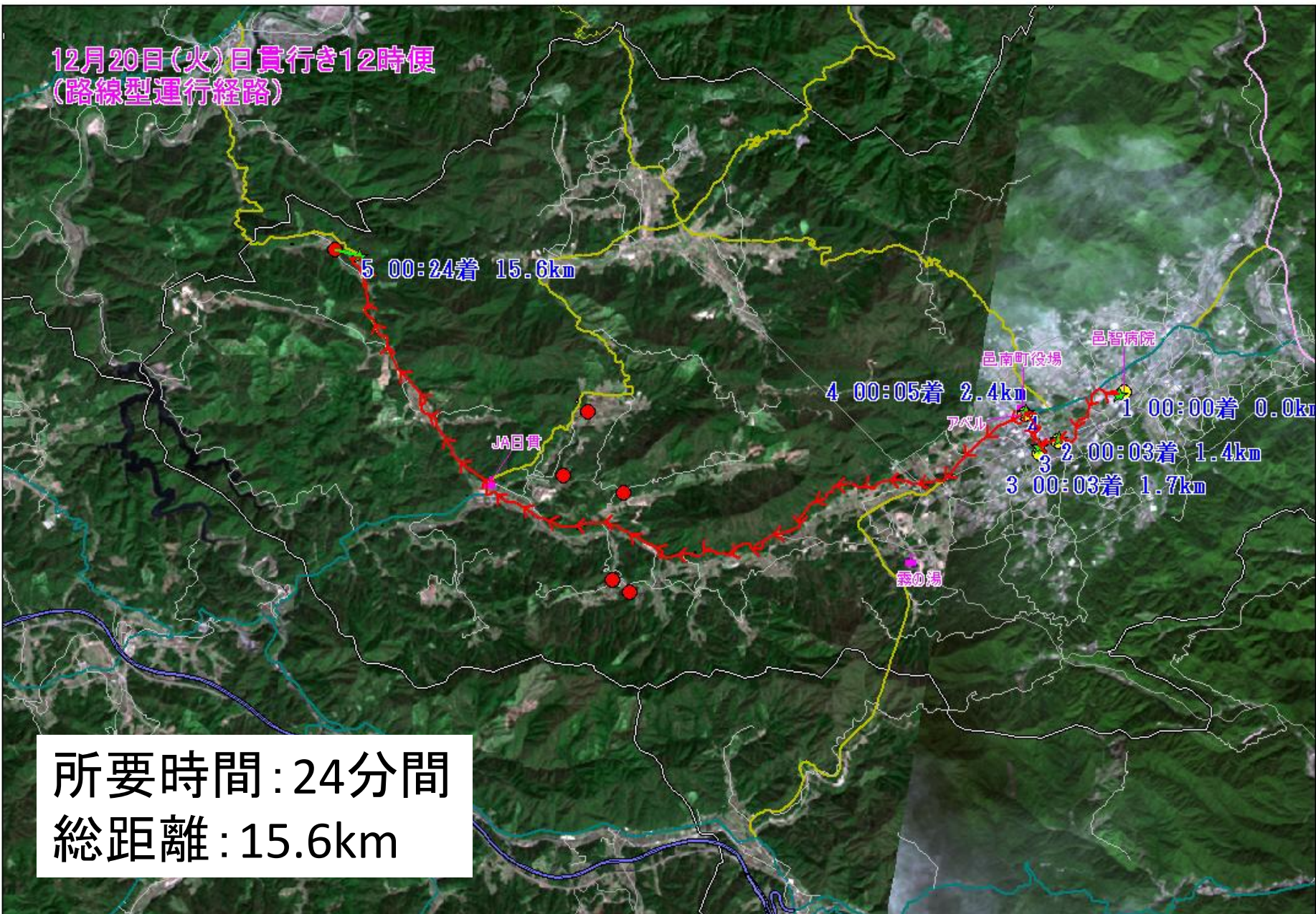


GIS分析マップ 実験期間中の旅客・貨物輸送成果



GIS分析マップ「12月20日日貫行12時便路線型」

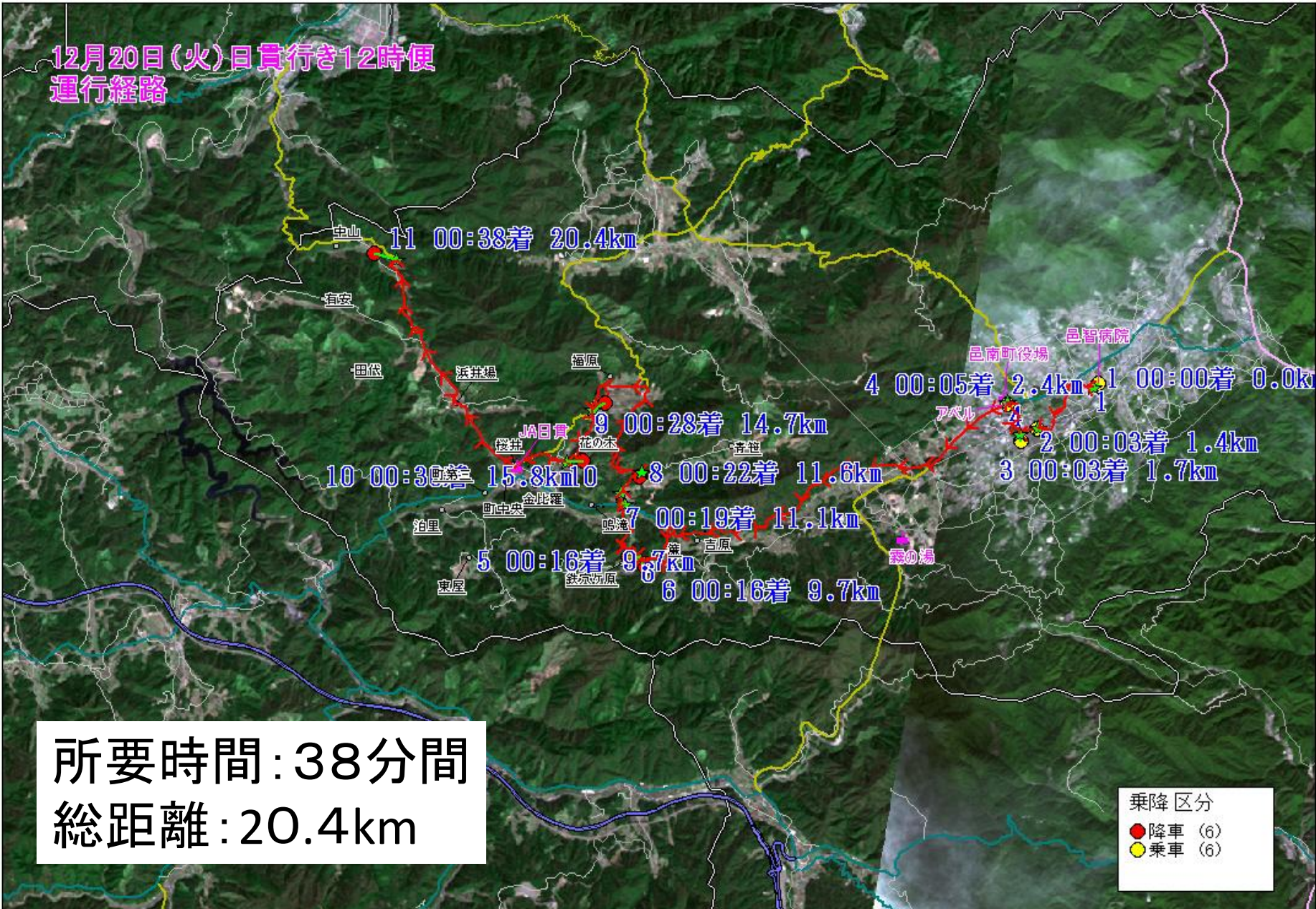
12月20日(火)日貫行き12時便
(路線型運行経路)



所要時間: 24分間
総距離: 15.6km

GIS分析マップ「12月20日日貫行12時便経路」

12月20日(火)日貫行き12時便
運行経路



所要時間:38分間
総距離:20.4km

乗降区分
●降車 (6)
●乗車 (6)

●ダイヤモンド型運行に伴う迂回度の計測

■乗車人数が多く(6人)、最も遠い中山集落まで運行したケースで試算(12月20日日貫行12時便)

ダイヤモンドタイプ運行

12:00 邑智病院 発
矢上商店街、アベル等を巡回
12:16 世帯1に到着
12:38 最終世帯6に到着
〈総距離20.4km〉
〈走行時間 38分間〉
* 8箇所停留時間=計8分
〈総所要時間 46分〉

路線タイプ運行

12:00 邑智病院 発
矢上商店街、アベル等を巡回
その後路線沿いで降車
12:24 最終世帯6に到着
〈総距離15.6km〉
〈走行時間 24分間〉
* 8箇所停留時間=計8分
〈総所要時間 32分〉

迂回度は、走行距離で+30.7%、総所要時間で+43.8%
(ただし、終点での計算)

イギリス・ポストバスの運行

(国土交通省ホームページ資料より)



①地域コミュニティに奉仕すること、②郵便の集配を行うこと、③乗客を有償で輸送すること、④食料品や新聞、処方せん等の「ローカルグッズ」の配送サービスを提供